



各 位

2022年6月29日

会社名  日本タングステン株式会社
代表者名 取締役社長 後藤 信志
(コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
問合せ先 取締役執行役員 原口 寿
経営管理本部長
(TEL 092-415-5500)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

各取締役にアンケートを実施し、各評価項目について5段階評価を行うとともに自由記述欄を設け、意見聴取を行いました。また、取締役会事務局にてこれを集計し、取締役会において評価結果を報告の上、審議を行いました。

<評価項目>

- ① 適時適切な意思決定の前提となる重要情報の集約等
- ② 多面的な視点かつポイントを突いた深い議論の実施
- ③ 重要事項についての適時適切な意思決定
- ④ 意思決定事項等に係る業務執行のモニタリング
- ⑤ その他（取締役会を支える体制・社外取締役の活用等）

2. 前年度(2020年度)実効性評価において認識した課題と取り組みに対する評価

(認識した課題)

- ① 中長期的な経営戦略を策定する際の経営環境の分析・評価、及び経営指標についての議論の充実
- ② 中期経営計画を中心とした経営戦略の課題・進捗管理及びその他重要案件についての実施状況等のモニタリングの強化

(取り組みに対する評価)

- ① 経営環境の分析・評価、及び経営指標についての議論においては、概ね一定の取り組み・改善がなされたとの評価であることが確認された一方、サステナビリティや非財務情報・指標に関する視点での議論が不足しているとの意見が出されました。
- ② 経営戦略の課題・進捗管理及びその他重要案件についての実施状況等のモニタリングにおいては、当社の最優先事項となる施策の実施状況について十分な時間をかけ意見交換を行いました。

3. 2021年度の評価結果の概要及び今後の取り組み

当社取締役会は、上記審議の結果、取締役会の実効性について概ね適切に確保されていると判断いたしました。一方、ESG・サステナビリティを踏まえた経営分析・評価による経営戦略の実効性においてさらに改善の余地があることを確認いたしました。

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、取締役会の一層の実効性向上のため、今後更なる改善、継続的な取り組みを行ってまいります。

以上